



地 域 を 明 る く す る 会 社
横田建設株式会社
YOKOTA CONSTRUCTION

環境経営レポート

2024



— 初版 —

2025 年 5 月 30 日 発 刊

(対象期間:2024 年 1 月-2024年 12 月)



代表者挨拶

当社は昭和34(1954)年の創業以来、本年で65年以上の歴史を歩んでまいりました。この長い歴史を基礎として、令和元年の社長就任以来、

- 地域を明るくする
- 地域を支える人材の育成
- 挑戦を続け「稼ぐ力」を伸ばす

の3点を経営理念として掲げております。

2025年4月からは、新・中期経営計画を策定し、大野人の「進取の気象」のもと、現代の外部環境の変化に合わせ、サステナブル経営を取り入れています。

これは、企業価値を高めるだけでなく、社員一人一人の働きやすい職場環境づくりにもつながる重要な指標と位置付けており、会社の環境管理体制の整備や、社員や下請企業社員への環境教育の実践を通し、持続可能な社会の実現に向け取り組んでおります。

また、2050年の脱炭素社会実現に向け、

- 本社工屋を再生可能エネルギーによる自立型の防災拠点化(防災協定締結)
- 関連会社所有のZEB建物を建築・施工・開発
- 社有車の一部EV化
- 5R(Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)、Refuse(リフューズ)、Repair(リペア))の実践

を推進し、地域における先進的な環境管理活動に取り組んでまいります。

2025年5月30日

横田建設株式会社
代表取締役 横田 憲一

目 次

1. 組織の概要	1
2. レポートの対象範囲、対象期間、発行日	3
3. 環境管理の実施体制（役割・責任・権限）	4
4. 環境経営方針	5
5. S D G s 宣言	6
6. 環境経営目標	7
7. 環境経営計画	9
8. 環境経営目標の実績	10
9. 環境経営計画の取組結果とその評価、次期取組	19
10. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟の有無	21
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示	23
12. その他（外部表彰）	24

発 行 日 2025年5月30日

発行責任者 環境管理責任者 室谷 一郎

Ⅰ．組織の概要

【事業所名】

横田建設株式会社

【代表者氏名】

代表取締役 横田 憲一

【所在地】

本社 〒912-0053 福井県大野市春日3丁目18番9号

旅館 〒912-0152 福井県大野市下打波第9号2番地（水杜のすみか 大野屋）

【事業活動の内容】

設 立 年	1959年4月（営業年数62年）
資 本 金	2,000万円
許可業種	福井県知事（特－4）第585号 建築工事業、とび・土工事業、鋼構造物工事業、解体工事業、建具工事業
	福井県知事（特－5）第585号 大工工事業、左官工事業、石工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鉄筋工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業
	一級建築士事務所（福井県知事 第い－412）
	産業廃棄物収集運搬業許可 許可番号01813234950
	宅地建物取引業（8）第994
	旅館業（福井県指令奥保31222008号）
有資格者	一級建築士 5名 一級建築施工管理技士（監理技術者） 6名 二級建築士 3名（一級建築士を除く） 一級建築施工管理技士補 1名 二級建築施工管理技士補 1名 宅地建物取引士 3名 木造耐震診断士 1名 建設業経理士 3名 第一種衛生管理者 1名

【事業の規模】

活動規模	2022年	2023年	2024年
売上高	481.0 百万円	706.8 百万円	1,002.6 百万円
従業員	12 名	14 名	14 名
床面積（本社）	359.32 m ²	359.32 m ²	359.32 m ²

【事業年】

1 月 1 日～12 月 31 日

【環境管理責任者及び事務局】

- ・環境管理責任者 室谷 一郎（取締役 建築部長）
- ・環境事務局 南川 麻衣（管理部課長）
- ・連絡先
 - TEL 0779-66-5650
 - FAX 0779-66-5681
 - Eメール info@yokota-construction.com

2. レポートの対象範囲、対象期間、発行日



【対象範囲（事業対象範囲）】

横田建設株式会社 総合建設業・不動産業（旅館業は2026年 範囲拡大予定）
に関わる全社員

【事業活動】

- ・ 建築工事の総合建設業
- ・ 不動産の売買及び仲介業

【環境経営レポートの対象期間】

2024年1月1日 ～ 2024年12月31日

【環境経営レポートの発行日】

2025年5月30日

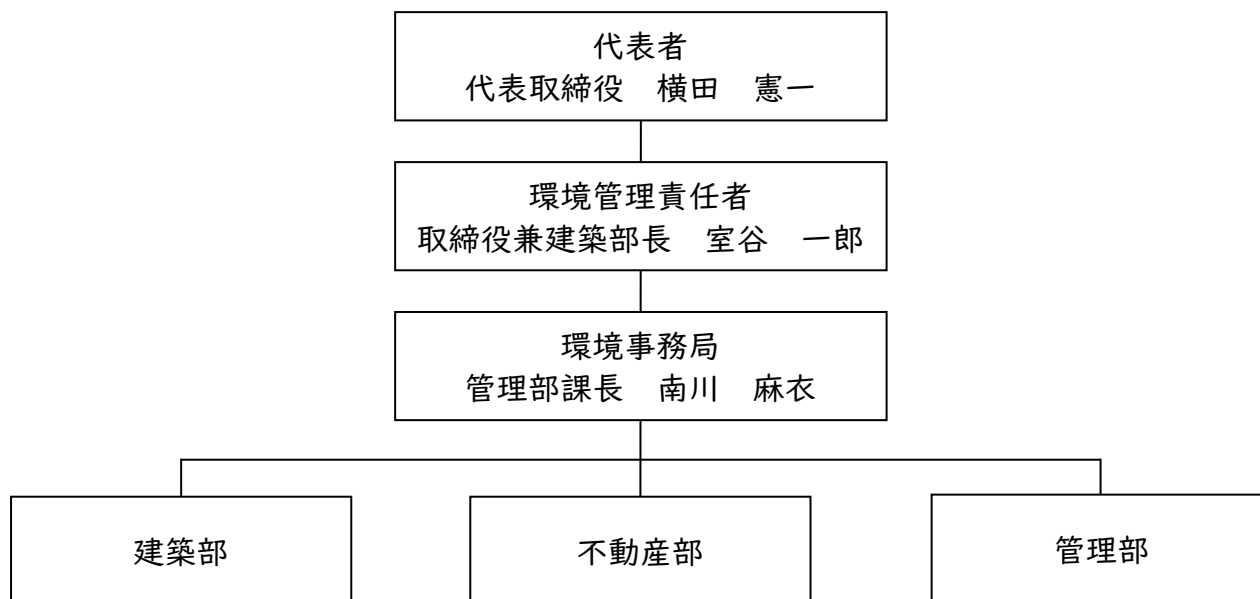
【次期環境経営レポートの発行予定日】

2026年5月末頃

【作成責任者】

環境管理責任者 室谷 一郎

3. 環境管理の実施体制（役割・責任・権限）



担 当	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代 表 者	・ 環境経営に関する統括責任者 ・ 環境経営システムにおける人材、設備、費用の用意 ・ 環境管理責任者及び環境事務局の任命 ・ 環境経営方針の策定、見直し及び全社員への周知 ・ 環境関連法規の取りまとめ表、環境経営目標、環境経営計画の承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しの実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、運用、維持に関する実務責任者 ・ 環境関連法規の取りまとめ表の作成 ・ 環境経営目標及び環境経営計画の確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
環 境 事 務 局	・ 環境管理責任者の補佐、環境経営システムの事務局 ・ 環境への負荷・取組の自己チェックの実施 ・ 環境経営目標及び環境経営計画原案の作成 ・ 環境関連法規の取りまとめ表に基づく遵守状況の確認 ・ 外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開
各 部 門	・ 各部門における環境経営システムの実施、記録 ・ 問題点の共有及び予防措置の実施 ・ 緊急事態の試行及び訓練の実施
全 社 員	・ 環境経営方針の確認、理解 ・ 各個人における環境活動、SDGs活動の実施

4. 環境経営方針

【企業理念】

- ・地域を明るくする
- ・地域を支える人材の育成
- ・挑戦を続け「稼ぐ力」を伸ばす

【環境方針】

- ① 当社は、事業活動において環境に関する法規・条例を遵守し、全社員に周知し、環境保全に取り組みます。
- ② 本社や建設工事で使用する電力・燃料の消費を減らし、二酸化炭素の排出量を削減します。
- ③ 本社では「省エネルギー・創エネルギー※1」の技術を活かし『Z E B※2』の実現を目指す。
- ④ 本社や建設工事で発生する産業廃棄物排出量の削減及びリサイクルを進めるため、5 R [Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)、Refuse(リフューズ)、Repair(リペア)]を推進します。
- ⑤ 積極的なストック（空き家）の利活用を推進し、建物の新築・解体に伴う二酸化炭素の排出量を削減します。
- ⑥ 地域周辺の環境に対する貢献やS D G s活動に積極的に参加するとともに、地域内にエネルギーを循環させるため、再生可能エネルギーによる発電所や系統用蓄電所の設置（自社投資）・誘致をすすめ電力の地産地消を推進します。
- ⑦ 環境経営方針を達成するために、環境経営目標を設定し、全従業員が分担して取組を実施するとともに定期的な見直し、継続的な改善を図ります。
- ⑧ ①～⑦に関する内容を環境経営レポートにまとめ、広く外部へ公表致します。

※1：「エネルギーを減らす（省エネ）技術」・・・日射遮断、外皮性能向上、設備の高効率化など
「エネルギーを作る（創エネ）技術」・・・太陽光発電の導入など

※2：Z E Bとは、快適な室内環境を保ちながら省エネと創エネ技術の活用により「建物で消費する年間の一次エネルギーの消費量を正味でゼロにすることを目指した建物」のこと

制 定 日 2024年12月27日
制定責任者 代表取締役 横田 憲一

5. S D G s 宣言

横田建設株式会社 S D G s 宣言

「地域をもっと明るくする」の企業理念に基づき、
当社は以下のS D G sの達成に貢献することを宣言します。

①子育て世代の柔軟な働き方支援

- ・子育て、介護期間中でも活躍できる労働環境の整備や福利厚生への支援
- ・女性が活躍できるフィールドの積極的な提案

②若手社員が定着する職場環境づくり

- ・「安全・品質・環境」の要素における社内パトロール及び検査報告体制の確立
- ・高卒・大卒者・中途採用拡大による若手人材の確保
- ・I T化やペーパーレス化、テレワーク等の導入による労働時間の削減

③若手社員のキャリアアップ支援

- ・次世代を担う若手技術者へのO J Tによる経験値向上とスキルアップへの支援
(入社後3年間に会社指定資格の最低1資格以上の合格を目指す)

④カーボンニュートラル社会の実現

- ・本社の省エネや自然エネルギーを利用した設備の導入
- ・社用車のE V化
- ・行政と連携した空き家利活用の取組
- ・市内下打波地区での植林活動(下打波地区との協定締結済)

⑤5 R (Refuse, Reduce, Reuse, Recycle, Repair) の推進

- ・環境に配慮したもののづくり(5 Rの実践と分別の徹底)

【達成に向けて取り組む主なゴール】



6. 環境経営目標

【単年目標及び中長期目標】

基準値：2023年の実績値（売上高：706.8百万円）を設定

対象期間：各年1月～12月

環境目標 ※1	基準値	単年目標	中長期目標		
	2023年実績	2024年目標 -1%削減	2025年目標 -2%削減	2026年目標 -3%削減	2027年目標 -4%削減
CO ₂ 排出量の削減 (kg-CO ₂) ※2	27,409	27,135	26,861	26,587	26,313
売上高百万円あたり原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	39	39	38	38	37
電力使用量の削減 (kWh)	23,000	22,770	22,540	22,310	22,080
ガソリン使用量の削減 (L)	5,548	5,492	5,437	5,381	5,326
軽油使用量の削減 (L)	1,646	1,629	1,613	1,596	1,580
灯油使用量の削減 (L)	311	308	305	302	299
一般廃棄物排出量の削減 (kg)	6,331	6,268	6,204	6,141	6,078
産業廃棄物排出量の削減 (t)	3,341	3,308	3,275	3,241	3,208
環境に配慮した施工 (件) ※3	全件 (10)	全件 (12)	全件 (14)	全件 (16)	全件 (18)
空き家の利活用 (件) ※4	2	3	4	5	6
本社工用車のEV化 (台) ※5	4	5	6	7	9
SDGs活動の実施 (回)	5	6	7	7	7

※１：地下水の直接取水に加え個別の浄化槽設置に伴い、一元的な計量を行っていないため水使用量の削減目標設定はおこなわず、削減に努める。

加えて、化学物質の使用もないことから環境目標の設定対象外とする。

※２：電力におけるＣＯ２排出量係数は 0.48l (kg-CO2/kWh) を引用した（北陸電力株式会社 2023 年度実績値）。ただし、2023 年 11 月より「アクア ECO プラン（ＣＯ２排出量ゼロの付加価値を含む）」に切替えたため、実質排出量はゼロで積算する。

燃料の排出係数は「地球温暖化対策の推進に関する法律」より引用した。

※３：環境に配慮した施工内容は以下のとおりである。

- ・梱包状態から中身を取り出しての持込
- ・環境負荷の少ない材料（リサイクル製品等）の使用
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- ・ＩＣＴ工法等の導入

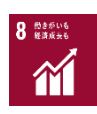
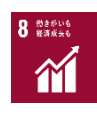
※４：2025 年 12 月末までに 5 戸の空き家のリノベーションを行い、既存住宅資源の有効活用を促進する。

※５：現状社用車は 9 台保有しており、2027 年 12 月末までに全ての社用車を EV に置き換える予定である。

7. 環境経営計画

【環境に関する取組内容】

対象期間：2024年1月～2024年12月

取組内容		担当者（責任者）	関連SDGs
C02 排出量削減	電力使用量の削減		
	・ 不必要時の照明消灯、空調停止 ・ 照明や空調機（フィルター）の定期的な清掃 ・ 空調の適温化（冷房 28℃、暖房 20℃） ・ 再生可能エネルギーの活用 ・ CO2排出量実質ゼロの電力メニュー契約	全社員 （室谷）	 
	燃料使用量の削減		
	・ アイドリングストップの徹底 ・ エコドライブの推進、実施 ・ 現場への移動者の相乗り ・ 社用車のEV化	各現場社員 （各現場所長）	 
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量の削減		
	・ ミスプリントの裏面使用、両面コピーの促進 ・ 文章の電子化などのペーパーレス化の実施 ・ ゴミの分別	全社員 （室谷）	
	産業廃棄物排出量の削減		
	・ 電子マニフェストの活用 ・ 産業廃棄物の分別の徹底 ・ 建設副産物の再利用（木材のチップ化等）	各現場社員 （各現場所長）	
環境に配慮した施工			
・ 工事前の安全管理、点検実施 ・ 環境負荷の少ない材料（リサイクル製品等）の使用 ・ ZEB建物の設計、施工の推進 ・ 設計、現場運営時に建設資機材のグリーン調達 ・ 低騒音、排出ガス対策型重機の使用 ・ ICT工法等の導入		各現場社員 （各現場所長）	   
SDGs活動			
・ 行政と連携した空き家利活用の取組 ・ 市内下打波地区での植林活動 ・ 地域の緑化活動（花いっぱい活動）の実施 ・ ハイブリット式コンポストの設置、運営 ・ リサイクルステーションの設置		全社員 （室谷）	   

8. 環境経営目標の実績

【①2024年における環境経営目標の実績】

実績値：2024年の実績値（売上高：1,002.6百万円）と目標値を比較評価

対象期間：2024年1月～12月

評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

環境目標 ※1	基準値	単年目標	単年実績・評価		
	2023年実績	2024年目標 -1%削減	2024年実績	達成度※6	評価
CO2排出量の削減 (kg-CO2) ※2	27,409	27,135	18,649	31.3% 削減	○
売上高百万円あたり原単位 (kg-CO2/百万円)	39	39	19	51.3% 削減	○
電力使用量の削減 (kWh)	23,000	22,770	13,835	39.2% 削減	○
ガソリン使用量の削減 (L)	5,548	5,492	6,901	25.7% 増加	×
軽油使用量の削減 (L)	1,646	1,629	133	91.9% 削減	○
灯油使用量の削減 (L)	311	308	922	199.3% 増加	×
一般廃棄物排出量の削減 (kg)	6,331	6,268	4,510	28.0% 削減	○
産業廃棄物排出量の削減 (t)	3,341	3,308	476	85.6% 削減	○
環境に配慮した施工 (件) ※3	全件 (10)	全件 (12)	全件 (18)	—	○
空き家の利活用 (件) ※4	2	3	2	—	×
本社工用車のEV化 (台) ※5	4	5	3	—	×
SDGs活動の実施 (回)	5	6	6	—	○

※1～5：「6. 環境経営目標 (P8)」に記載のとおり

※6：削減目標の達成度計算式（本年度目標値－本年度実績値）÷本年度目標値×100

【②活動結果の個別評価】

■CO2排出量の削減

評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

目標値	実績値	達成度	評価
27,135 kg-CO2	18,649 kg-CO2	31.3% 削減	○

■売上高百万円あたり原単位

評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

目標値	実績値	達成度	評価
39 kg-CO2/百万円	19 kg-CO2/百万円	51.3% 削減	○

達成理由
2023年11月より、CO2排出量実質ゼロの付加価値を含む電力メニュー（アクアECOプラン）に切替えたことが大きな要因である。次年以降は、燃料使用量の削減に努めていく。

▼「アクアECOプラン」について



水力電源100%の電気を届けるCO2排出量ゼロの価値（環境価値）を付加した電力メニュー電力料金メニューで初めて「エコマーク」を取得されている。



出典：「アクアECOプラン」（北陸電力株式会社、<https://www.rikuden.co.jp/ryokinmenu/aquaecoplan.html>）

■電力使用量の削減

評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

目標値	実績値	達成度	評価
22,770 kWh	13,835 kWh	39.2% 削減	○

達成理由

2023年12月に、本社屋上へ太陽光発電を設置したことが大きな要因である。次年以降も空調器の温度設定の見直しやエアコンフィルターの定期清掃、不要照明箇所の消灯などを徹底して、削減目標の達成を目指す。

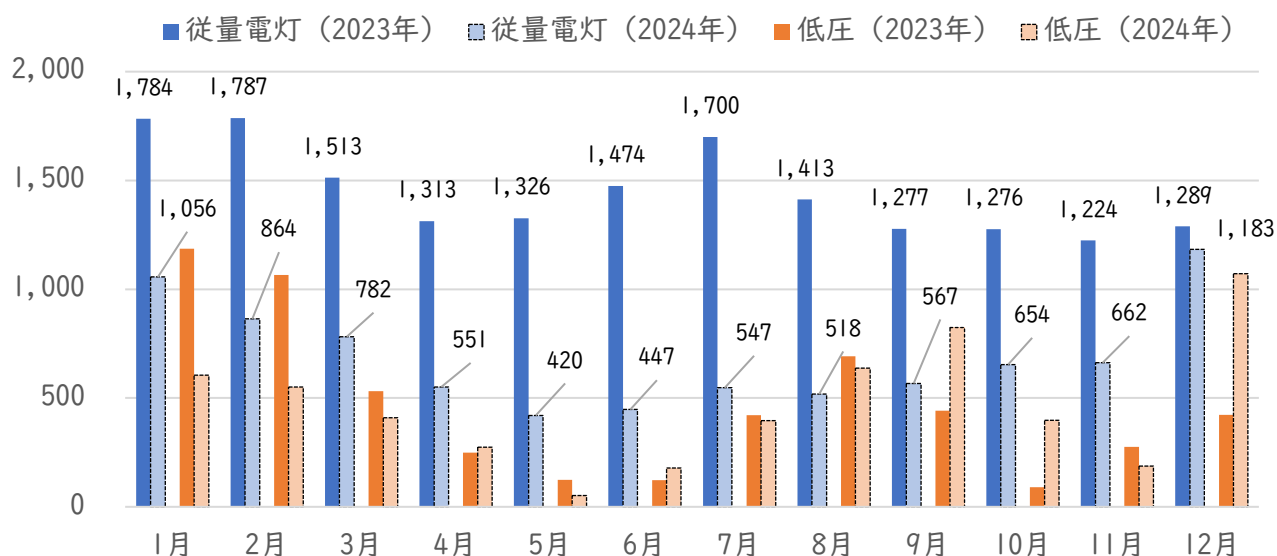
▼太陽光発電の設置状況



太陽光発電の設置により
「従量電灯」の使用量が
月平均 52%削減された！



▼電力使用量の推移比較



■ガソリン使用量の削減

評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

目標値	実績値	達成度	評価
5,492 L	6,901 L	25.7% 増加	×

未達成理由	今後の対応策
前年の工事件数が10件に対し本年は18件と、ガソリン車の使用頻度が増加したことが要因と考えられる。	当年の工事件数によって使用量が左右されることは否めない。エコドライブに努め、燃費の良い運転を心がけていく。 また、順次EVへの更新も行っていく。

■軽油使用量の削減

評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

目標値	実績値	達成度	評価
1,629 L	133 L	91.9% 削減	○

達成理由
ディーゼルエンジンの社用車を廃止したことが要因と考えられる。

■灯油使用量の削減

評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

目標値	実績値	達成度	評価
308 L	922 L	199.3% 増加	×

未達成理由	今後の対応策
工事件数が増加したことと、2023年は前年の購入分が残存していたことが要因と考えられる。	ストーブや空調の暖房利用は控え、服装等で寒くないように調節する。

■一般廃棄物排出量の削減

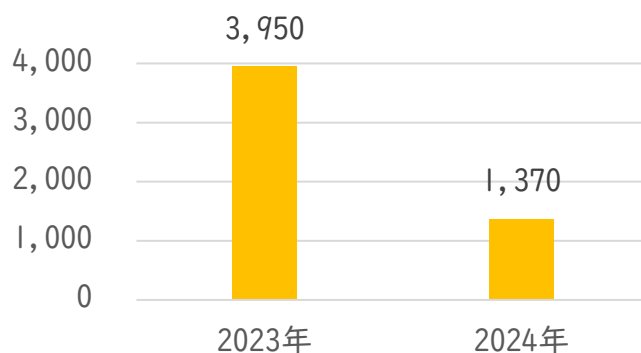
評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

目標値	実績値	達成度	評価
6,268 kg	4,510 kg	28.0% 削減	○

達成理由

前年、一般廃棄物排出量の半数以上を占めていた「木くず（剪定枝等）」の排出量を削減できたことが要因である。次年以降も削減目標の達成を目指す。

▼木くずの排出量推移（kg）



■産業廃棄物排出量の削減

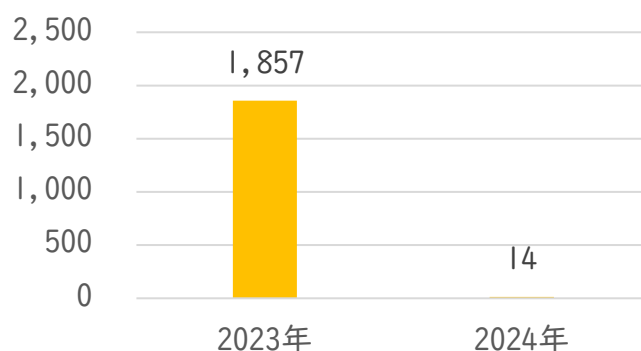
評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

目標値	実績値	達成度	評価
3,308 t	476 t	85.6% 削減	○

達成理由

こちらも前年、産業廃棄物排出量の半数以上を占めていた「がれき類」の排出量を削減できたことが要因である。ただし、当年の工事内容によって排出量が左右されることは否めない。

▼がれき類の排出量推移（t）



■環境に配慮した施工

評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

目標値	実績値	達成度	評価
12 件	18 件	—	○

達成理由
災害に強く、かつ環境を意識した物件の需要が高まったため

▼『Z E B』仕様の環境配慮型テナントビルの新築工事

北陸銀行（本店富山市）の大野支店（大野市）の移転に伴い、テナントビルの新築工事（開発・設計・施工）を弊社が行った。

新店舗は建物全体のエネルギー収支が実質ゼロとなる『Z E B』仕様の建物であり、太陽光発電設備と蓄電池、非常用発電機を備えた、災害に強い持続可能な店舗である。



建物面積：264.71 m²

構 造：鉄骨造 平屋建て

工事期間：2024年7月20日
～2025年4月30日

■空き家の利活用

評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

目標値	実績値	達成度	評価
3	2	—	×

未達成理由	今後の対応策
不動産部門の人員不足により、利用可物件の探索が難しかったため。	不動産部門の人員、業務量を見直していく。

▼空き家の利活用（2025年時点で2件リノベーション済）



■本社工用車のEV化

評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

目標値	実績値	達成度	評価
5	3	—	×

未達成理由	今後の対応策
所有していた1台が故障により使用不可となり、売却した。	国・県の補助金を活用しながら、順次導入を計画中である。

▼BEV・HEVの導入（2023年～）



HEV：1台

BEV：2台



■SDGs活動の実施

評価凡例：[○] …達成、[△] …ほぼ達成、[×] …未達成

目標値	実績値	達成度	評価
6	6	—	○

達成理由

地区の緑化活動への参加や災害協定締結による防災訓練の実施、防災倉庫の設置など、「地域を明るくする会社」として周辺地区のさまざまな活動に取り組めた。

▼地域の介護施設、認定こども園、障害施設での緑化活動（花いっぱい運動）



▼大野市との防災協定（2024年1月28日）

当社は、自然災害などで大規模な停電が起きた際、当社のEV（1台）を避難所に派遣する旨の協定書を市内自主防災会と交わした（次ページ参照）。

一般家庭なら約2日分の消費電力を1台のEVで賄えると言われており、地域共同での防災訓練を定期的に行いながら、いつかの災害に備えている。



横田建設を 災害時の防災拠点に

横田建設は、災害時のライフライン確保に向けた初動対応と
建設会社の特色を活かしたエネルギー供給で、
地域のみなさまに安心をご提供します。

災害時に地域へ電源を無償供給します

- ・社屋にて、太陽光発電自立コンセントにより携帯電話などへのType別充電を可能に
- ・StarLink（高速、低遅延な衛星ブロードバンドサービス）による臨時基地局サービスで最新の災害情報にアクセス

近隣避難所（有終南小学校）へのEV車の派遣

- ・BEV車「さくら」とパワームーバーを利用した電力供給



4.5kWの大容量タイプ
1.5kW×3口出力でたくさん使える！



地域と横田建設による防災訓練の実施

年1回以上、地域の自主防災会と当社社員による防災訓練の実施

災害時の地域の防災物資を備蓄

災害発生後2日程度
必要なものを揃える

- ☐ StarLink 1台
- ☐ 薪
- ☐ ストーブ（石油）
- ☐ 石油

- ☐ ガソリン
- ☐ 充電ケーブル
- ☐ 段ボール
- ☐ 軽油



9. 環境経営計画の取組結果とその評価、次期取組

【環境に関する取組内容】

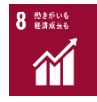
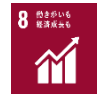
対象期間：2024年1月～2024年12月

評価凡例：[○] …良好、[△] …概ね良好、[×] …出来ていない

取組内容		取組結果	評価
CO2 排出量 削減	電力使用量の削減		
	・ 不必要時の照明消灯、空調停止 ・ 照明や空調機（フィルター）の定期的な清掃 ・ 空調の適温化（冷房 28℃、暖房 20℃） ・ 再生可能エネルギーの活用 ・ CO2排出量実質ゼロの電力メニュー契約	不在時、休憩時に照明を消すなど取組めている。	○
	燃料使用量の削減		
	・ アイドリングストップの徹底 ・ エコドライブの推進、実施 ・ 現場への移動者の相乗り ・ 社用車のEV化	意識して取り組んでいる。	○
廃棄物 排出量 削減	一般廃棄物排出量の削減		
	・ ミスプリントの裏面使用、両面コピーの促進 ・ 文章の電子化などのペーパーレス化の実施 ・ ゴミの分別	無駄遣いのないよう取組めている。	○
	産業廃棄物排出量の削減		
	・ 電子マニフェストの活用 ・ 産業廃棄物の分別の徹底 ・ 建設副産物の再利用（木材のチップ化等）	きちんと管理できている。	○
環境に配慮した施工			
・ 工事前の安全管理、点検実施 ・ 環境負荷の少ない材料（リサイクル製品等）の使用 ・ ZEB建物の設計、施工の推進 ・ 設計、現場運営時に建設資機材のグリーン調達 ・ 低騒音、排出ガス対策型重機の使用 ・ ICT工法等の導入		意識して取り組んでいる。	○
SDGs活動			
・ 行政と連携した空き家利活用の取組 ・ 市内下打波地区での植林活動 ・ 地域の緑化活動（花いっぱい活動）の実施 ・ ハイブリット式コンポストの設置、運営 ・ リサイクルステーションの設置		地域活動に積極的に参加している。	○

【環境に関する時期内容】

対象期間：2025年1月～2025年12月

次期取組内容（変更なし）		担当者（責任者）	関連SDGs
CO2 排出量 削減	電力使用量の削減		
	・ 不必要時の照明消灯、空調停止 ・ 照明や空調機（フィルター）の定期的な清掃 ・ 空調の適温化（冷房 28℃、暖房 20℃） ・ 再生可能エネルギーの活用 ・ CO2排出量実質ゼロの電力メニュー契約	全社員 （室谷）	 
	燃料使用量の削減		
	・ アイドリングストップの徹底 ・ エコドライブの推進、実施 ・ 現場への移動者の相乗り ・ 社用車のEV化	各現場社員 （各現場所長）	 
廃棄物 排出量 削減	一般廃棄物排出量の削減		
	・ ミスプリントの裏面使用、両面コピーの促進 ・ 文章の電子化などのペーパーレス化の実施 ・ ゴミの分別	全社員 （室谷）	
	産業廃棄物排出量の削減		
	・ 電子マニフェストの活用 ・ 産業廃棄物の分別の徹底 ・ 建設副産物の再利用（木材のチップ化等）	各現場社員 （各現場所長）	
環境に配慮した施工			
・ 工事前の安全管理、点検実施 ・ 環境負荷の少ない材料（リサイクル製品等）の使用 ・ ZEB建物の設計、施工の推進 ・ 設計、現場運営時に建設資機材のグリーン調達 ・ 低騒音、排出ガス対策型重機の使用 ・ ICT工法等の導入		各現場社員 （各現場所長）	   
SDGs活動			
・ 行政と連携した空き家利活用の取組 ・ 市内下打波地区での植林活動 ・ 地域の緑化活動（花いっぱい活動）の実施 ・ ハイブリット式コンポストの設置、運営 ・ リサイクルステーションの設置		全社員 （室谷）	   

10. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟の有無

【①環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果】

確認日：2024年12月27日

確認者：環境管理責任者 室谷 一郎

法規制等の名称	法・法則・細則 規定・省令	適用内容・遵守事項	頻度	遵守評価
建設業法	法第3条	建設業の許可・更新 (有効期限：2027年4月24日)	その都度	—
廃棄物処理法	法第12条	収集運搬業者及び処分業者との委託契約締結	その都度	○
	法則第8条の4 の3	委託契約書の保管	その都度	○
	法第12条の3、 12条の5	マニフェストの管理・保管(5年間) ※電子マニフェスト使用	その都度	—
	規則第8条	保管基準(掲示板表示)	その都度	○
	法第12条9項	多量排出事業者(年間1000t以上)の処理 計画書の提出	必要時	該当なし
廃棄物処理法 (収集運搬)	法第14条	収集運搬業の許可・更新 (有効期限：2028年7月25日)	その都度	○
	法第12条	排出事業者との委託契約締結	その都度	○
	規則第8条の4 の3	委託契約書の保管	その都度	○
	法第12条の3、 12条の5	マニフェストの管理・保管(5年間) ※電子マニフェスト使用	その都度	○
	施行細則第22条	産業廃棄物運搬状況報告書の提出	6月中	○
騒音規制法	法第14条第1項	特定建設作業の実施の届出、規制基準遵守	その都度	○
振動規制法	法第14条第1項	特定建設作業の実施の届出、規制基準遵守	その都度	○
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定	規定第1条	対象建設機械の排ガス対策型機械の使用	その都度	○
建設リサイクル法	法第10条	対象建設工事の届出書の提出	その都度	○
	法第5条第2項	再生資源の十分な利用	その都度	○
	法第9条	廃棄物の分別、減量、リサイクルの促進、 適切な処理	その都度	○
指定副産物使用促進省令	省令第7条	再生資材の利用計画及び実施情報の作成・ 登録	その都度	○
	省令第7条	建設副産物の搬出計画及び実施情報の作成・ 登録	その都度	○

法規制等の名称	法・法則・細則 規定・省令	適用内容・遵守事項	頻度	遵守評価
石綿障害予防規則	第3条	石綿等の使用有無の調査及び記録	その都度	○
	第4条	健康障害防止の作業計画と実施	その都度	○
	第4条の2	事前調査の結果等の報告	その都度	○
大気汚染防止法	第18条の15	特定建築材料の有無の調査と結果報告	その都度	○
	第18条の17	特定粉じん排出等作業の実施の届出	その都度	○
建築基準法	第28条の2	石綿等の飛散・発散に対する衛生上の措置	その都度	○
学校環境衛生基準		室内化学物質の濃度測定の実施	その都度	○
グリーン購入法	第5条	環境物品等の購入の努力義務	その都度	○
水質汚濁防止法	第14条の6	国や地方公共団体の生活排水対策の実施協力	その都度	○
	第14条の7	生活排水による汚濁の負荷の低減に資する設備整備の努力義務	その都度	○
大野市地下水保全条例	第6条	抑制地域における規定規模以上の揚水機による地下水採取の届出	その都度	○
同上 施行規則	第7条	融雪装置の使用基準の順守	その都度	○
フロン排出抑制法	法16条	対象機器の簡易定期点検 (簡易点検記録を廃棄後3年間保管する)	その都度	○
	法16条	対象重機の簡易定期点検 (簡易点検記録を廃棄後4年間保管する)	その都度	○
家電リサイクル法	法第6条	指定機器のリサイクル適正管理 (指定業者への処理依頼)	その都度	該当なし
PCリサイクル法	法第4条	指定機器のリサイクル適正管理 (指定業者への処理依頼)	その都度	該当なし
自動車リサイクル法	法第8条、法第73条	車両の廃車時に適正管理 (指定業者への処理依頼)	その都度	○
浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検(1回/3ヶ月)及び 浄化槽の清掃(1回/1年)	その都度	○
	第11条	毎年一回、指定検査機関の行う水質に関する検査の受診	その都度	○

【②環境関連法規等の違反、訴訟等の有無】

環境関連法規等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規等の逸脱なし

環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情もなし

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

報告日：2025年5月30日

報告者：環境管理責任者 室谷 一郎

①見直し・関連情報	項目		確認：（必要に応じ評価・コメント）
	1	エコアクション21文書	■ 記録・文書として製作
	2	環境経営目標及び目標達成状況	■ CO2排出量、電力は減少、燃料は一部増加
	3	環境経営計画及び取組結果	■ 取組の継続
	4	環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟の有無	■ 当社に関連する法規等を整理
	5	外部コミュニケーション・対応記録	■ 特に問題なし
	6	問題点の是正・予防措置の実施	■ 特に問題なし
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	■ 特に問題なし
	8	その他（ ）	☐

②代表者による全体評価・見直し指示	＜代表者コメント＞		
	脱炭素社会実現に向けて、会社経営状況を鑑み、遅滞なく進めていけるマイルストーンを作成します。		
	見直し項目		「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・ ☒ 無
	2	環境経営目標	有・ ☒ 無
	3	環境経営計画	有・ ☒ 無
	4	環境に関する組織・体制	有・ ☒ 無
	5	その他のシステム要素	有・ ☒ 無
	6	その他（外部対応）	有・ ☒ 無

承認日：2025年5月30日

承認者：代表者 横田 憲一

（横田建設株式会社 代表取締役）

12. その他（外部表彰）

【表彰】

年月日	表彰授与機関	表彰名
2025年3月17日	福井県エネルギー環境部 エネルギー課新エネルギー グループ	令和6年度 福井県カーボン ニュートラル推進企業表彰

▼「令和6年度 福井県カーボンニュートラル推進企業表彰」の表彰式の様子



出典：「令和6年度 福井県カーボンニュートラル推進企業表彰」（福井県、
<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/dengen/jyusyou2.html>）